

6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(1) 千葉の魅力の向上と活用

○地域づくり推進事業〔再掲〕(地域づくり課) 30,000千円 (R5 12,000千円)

県内各地域において、それぞれの地域が持つ特性や強みを活かし、地域の活性化に向けた取組を推進するため、県、市町村、地元関係者等が連携して地域づくりに取り組みます。

○移住・定住促進事業(地域づくり課、観光企画課、雇用労働課)

44,377千円 (R5 49,922千円)

二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、県内各市町村の移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトの運営やインフルエンサーによるSNSでの情報発信、都内での本県専任の移住相談員の配置などを実施します。

[主な事業]

1 情報発信の強化

- ・移住に係るポータルサイトの運営 15,277千円
- ・二地域居住SNS発信事業 6,000千円
移住検討者に二地域居住を体感してもらうため、インフルエンサーが実際に体験し、その様子や感想をSNSにおいて発信します。
- ・移住に関する相談会やイベント等の開催 7,357千円

2 相談・受付体制の確保

- ・千葉県専属相談員の配置 9,100千円

○副業人材マッチング支援事業(地域づくり課) 18,600千円 (R5 13,000千円)

少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業と豊富な知識・経験等を有する副業人材をマッチングし、地域の課題解決に資する企業の取組を支援します。

[対象地域]

県内7地域(香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津)

[本事業の対象となる地域企業の取組]

- ・関係人口、二地域居住、移住・定住の増加に資する取組
- ・地域を代表する物産の開発・生産など、地域のブランド形成に資する取組 等

○千葉の海の魅力発信事業〔一部再掲〕 180,000千円 (R5 175,100千円)

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。令和6年度は、県民の日中央行事を九十九里浜と勝浦市で実施し、海の魅力発信を一層推進します。

[事業内容]

1 「千葉の海・大使」等を活用した魅力発信（文化振興課） 18,000千円

令和5年度に任命した「千葉の海・大使」による、本県の海の魅力をPRするイベントを開催するとともに、千葉の海ブランドデザインの普及を進めます。

2 「県民の日」事業（文化振興課） 60,000千円

県民の日中央行事を、千葉県誕生150周年記念事業のフィナーレイベントとして九十九里浜と勝浦市で2日間にわたって実施します。

3 千葉の海と水辺の魅力発信事業〔再掲〕（地域づくり課） 50,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力に注目し、誌面広告等を活用して、県内外にその魅力を発信していきます。

4 GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業〔再掲〕（観光誘致促進課）

22,000千円

千葉県への誘客をさらに促進するため、千葉の海や歴史、文化などのスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

5 新しい千葉の食文化創生事業〔再掲〕（流通販売課） 30,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながる「新たなご当地グルメ」として、令和4年度にコンセプトを策定した「黒アヒージョ」について、認知度の向上に向けた取組を実施します。

○日本国際博覧会（大阪・関西万博）機運醸成事業【新規】（政策企画課） 9,000千円

2025年に開催される大阪・関西万博を契機として、千葉県の魅力を国内外に向けてPRするため、大阪府等の他団体と連携した各種イベントの開催などにより、万博の一層の機運醸成を図っていきます。

[主な事業]

- ・広報媒体作成・情報発信 等
- ・イベント開催

○ちばワーケーション受入促進事業【一部新規】〔再掲〕（観光企画課）

101,200千円（R5 77,700千円）

新たな旅のスタイルであるワーケーションについて、誘客イベントやホームページ等により、県の魅力を発信するとともに、地域における受入体制の強化を支援します。

また、実施企業に対する助成制度を新たに設けるなどにより、更なる受入促進を図ります。

〔事業内容〕

1	ちばワーケーション受入促進事業	15,200千円
2	ちばワーケーション受入体制強化事業補助金	50,000千円
3	ちばワーケーション実施企業助成事業【新規】	36,000千円

○千葉のブランド形成推進事業〔再掲〕（地域づくり課、報道広報課、観光企画課）

228,840千円（R5 225,000千円）

千葉県 の 知名度やイメージを高め、県内各地域のブランディングの推進を図るため、テレビ、ラジオ、誌面広告による広報のほか、チーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

〔主な事業〕

・テレビ（在京キー局）による映像情報発信	87,618千円
・ラジオを活用した情報発信	40,524千円
・誌面広告を活用した情報発信	20,000千円
・チーバくんによる情報発信	39,140千円
・観光物産情報ラジオ番組	6,000千円
・メディアリレーション事業	30,000千円

○世界に向けた千葉のブランド形成推進事業【一部新規】〔再掲〕（地域づくり課）

16,808千円（R5 40,000千円）

県内各地域の認知拡大と地域ブランディングの推進を図るため、在京外国人向けフリーマガジンによる広報のほか、成田空港で本県の観光地や食、文化を紹介するPR動画を掲出します。

〔主な事業〕

・在京外国人向け誌面広告を活用した情報発信【新規】	13,288千円
・成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出	3,520千円

(2) 環境の保全と豊かな自然の活用

○家庭向け脱炭素化促進事業【一部新規】(温暖化対策推進課)

527,000千円(R5 418,000千円)

家庭におけるCO₂排出量削減や災害時における電源の確保を図るため、住宅用省エネ設備、電気自動車・充電関連設備の導入に対し、引き続き助成します。

また、リース等による太陽光発電設備等の導入や、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の取得に要する経費に対し、新たに助成します。

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

[事業内容]

1 住宅用設備等脱炭素化促進事業 407,000千円

[補助対象] 市町村(県補助は市町村を通じて実施)

[対象経費] 燃料電池、蓄電池、窓の断熱改修、電気自動車等、V2H充放電設備

(集合住宅のみ対象) 電気自動車用充電設備、住民の合意形成のための資料作成

2 住宅用太陽光発電設備等に係るリース等導入促進事業【新規】 70,000千円

[補助対象] リース事業者等

[対象経費] 太陽光発電設備・蓄電池をセットで導入する場合に、

太陽光発電設備について5万円/kW、蓄電池について1台当たり12万円を定額で補助

3 ZEH導入促進事業【新規】 50,000千円

[補助対象] 県内の中小工務店が施工したZEHを県内に取得する県民

[対象経費]

区分	補助額(定額)	上限額
ZEH	100万円	施工に要した経費
ZEH+		
ZEH Oriented	50万円	

※ZEH…基準となる一次エネルギー消費量を20%以上削減した上で、再生可能エネルギー等の導入により、100%以上の一次エネルギー消費量削減を達成する住宅

ZEH+…ZEHの定義を満たし、基準となる一次エネルギー消費量を25%以上削減し、かつ以下の3要素のうち2要素以上を採用する住宅

①外皮性能の更なる強化、②高度エネルギーマネジメントの導入、

③電気自動車用充電器の設置

ZEH Oriented…基準となる一次エネルギー消費量を20%以上削減する住宅(再生可能エネルギーの導入が困難な都市部狭小地に建設された住宅に限る。)

○事業者向け脱炭素化促進事業【一部新規】〔再掲〕（温暖化対策推進課）

1,140,000千円(R5 565,000千円)

本県の産業部門等におけるカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、中小事業者等の脱炭素化に向けた取組を支援します。

[事業内容]

- 1 業務用設備等脱炭素化促進事業 1,035,000千円
- 2 中小事業者等向けスマート省エネ技術導入促進事業【新規】 40,000千円
- 3 中小事業者等向け脱炭素化（伴走型）相談支援事業【新規】 30,000千円
- 4 業務用建物脱炭素化設計支援事業 35,000千円

○事業者向け次世代自動車等導入促進事業〔再掲〕（温暖化対策推進課）

70,000千円(R5 70,000千円)

運輸部門における脱炭素化を進めるため、タクシーやバス、シェアリングカー等に次世代自動車を導入する場合の車両等の導入経費について助成します。

また、中小事業者が次世代自動車用設備等を導入する際の経費についても助成します。

[事業内容]

- 1 地域交通等向け次世代自動車導入補助金 50,000千円
- 2 中小事業者向け次世代自動車用設備補助金 20,000千円

○観光等におけるEV活用促進モデル事業【一部新規】〔再掲〕（温暖化対策推進課）

6,200千円(R5 1,500千円)

自動車を利用した観光需要が高い地域において、充電設備の設置促進やEV（電気自動車）を利用する観光客向けの特典を企画するとともに、充電場所や特典情報のWEBサイトを運営するモデル事業を実施します。

また、駅からのアクセスの良い香取合同庁舎において、公用車EVのカーシェアリングを試行するモデル事業を行います。

[事業内容]

- 1 観光地等EV充電スタンド促進モデル事業 2,500千円
- 2 公用車EVカーシェアリングモデル事業【新規】 3,700千円

○カーボンニュートラルコンビナート事業〔再掲〕（産業振興課）

50,000千円（R5 30,000千円）

京葉臨海コンビナートを、日本をリードするカーボンニュートラルコンビナートへ転換する取組を促進するため、立地企業等で設置した協議会を運営するとともに、業種を超えた企業間連携のプロジェクトの推進に必要な調査等を引き続き実施します。

〔主な業務内容〕

- ・企業間連携のプロジェクトを推進するための調査、分析
- ・水素・アンモニア供給拠点のあり方に関する検討

○海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業【一部新規】〔再掲〕（産業振興課）

51,000千円（R5 37,000千円）

洋上風力発電について、適地である太平洋沿岸地域において地元の合意形成を図りながら導入の検討を進めるとともに、県内企業の洋上風力発電関連産業への参入を促進するため、風車メーカー等との勉強会の開催のほか、新たにアドバイザーを配置して、風車部品製造等の受注に向けた相談対応などを行います。

また、洋上風力発電関連産業の集積を図るため、洋上風力発電に関連して活用が期待されるドローンや蓄電池など成長分野の企業等の立地促進策を検討するための調査を行います。

〔主な事業〕

- | | |
|----------------------------|----------|
| ・導入可能性検討会議等の実施 | 4,955千円 |
| ・風車メーカー等との勉強会等の開催 | 3,487千円 |
| ・洋上風力関連産業参入アドバイザーの配置【新規】 | 7,843千円 |
| ・品質管理に係る認証のための取得講習会の開催【新規】 | 3,085千円 |
| ・関連産業の立地促進策を検討するための調査 | 30,000千円 |

○物流事業等における水素利活用モデル構築事業〔再掲〕（産業振興課）

30,000千円（R5 30,000千円）

カーボンニュートラルの実現に向けて、新たなエネルギーとして期待される水素の利活用を促進するため、今後まとまった需要が見込まれる物流事業や地域交通事業などの車両が集積している地域において、実証事業に向けた体制の構築や実証内容の検討を行います。

〔事業内容〕

- ・実証事業の実施地域の選定
- ・実証事業の詳細な内容の検討と実施体制の構築

○ゼロカーボン促進信用保証料補助金〔再掲〕（経営支援課）

10,000千円（R5 10,000千円）

県内中小企業のカーボンニュートラルの取組を支援するため、中小企業振興資金を利用して設備の導入等を行う場合に、信用保証料の一部を助成します。

[補助対象]

中小企業振興資金（環境保全資金）のうち、ゼロカーボン促進事業を利用する中小企業者

[補助率]

利用者が負担する信用保証料の1/2

○仮想空間を活用した地球温暖化対策普及啓発事業【新規】（温暖化対策推進課）

25,000千円

カーボンニュートラルについて、生活の中の取組やまちづくりを体験できる仮想空間を開発し、子どもたちを中心に遊びの要素を取り入れながら、地球温暖化対策の普及啓発を図ります。

[概要]

ソーラーパネルの設置や省エネ設備の導入、建物の壁面緑化などにより、仮想空間でCO₂の削減を体験

(例) ソーラーパネルの設置、LEDへの交換、建物の壁面緑化や植林、資源リサイクル

○若者が主役の環境保全活動応援事業（循環型社会推進課） 4,800千円（R5 3,500千円）

将来を担う若い世代が環境保全活動の主体となる機会を創出するため、地域や社会が抱える課題に対して、若者自らの創意工夫による企画を募集し、その活動を企業や団体等と協力して支援します。

[事業内容]

- ・若者と協力して解決したい課題を企業等に募集
- ・課題に対して、若者が主体となって構成する団体から具体的な活動内容の応募
- ・採用された団体に対して、県が活動費を支援（1団体50万円：最大3団体）
- ・課題を募集した企業等が活動場所等を提供

○全国「みどりの愛護」のつどい開催準備事業【新規】（公園緑地課、公安第二課）

28,775千円

（債務負担行為 12,000千円）

令和7年度に行われる第36回全国「みどりの愛護」のつどいの開催に向けて、準備を進めます。

[開催概要]

開催時期：令和7年4月～6月頃

会場：松戸市 21世紀の森と広場、森のホール 21

内容：功労者（国土交通大臣・千葉県知事）表彰、緑化推進関係団体の活動事例紹介、記念植樹

○「環境にやさしい農業」技術導入支援〔再掲〕（安全農業推進課）

8,000千円（R5 4,000千円）

ちばエコ農業等の生産者が実施する減農薬栽培や家畜ふん堆肥の利用等、「環境にやさしい農業」の技術導入に伴う機械・設備整備に係る経費の一部を助成します。

[事業主体] 農業者、農業者の組織する団体

[補助率]（機械等）1/2以内、（資材）1/3以内 等

[補助対象]（機械等）水稻中耕除草機、病害虫防除設備、イチゴ用炭酸ガス処理機 等
（資材）交信攪乱剤、防虫ネット等

○CO₂ゼロエミッション技術支援事業【一部新規】〔再掲〕（安全農業推進課）

4,000千円（R5 4,000千円）

脱炭素社会の実現のため、野菜などの作付けの間の休閑期に緑肥を栽培し、地中にすき込むことにより、土壌への炭素貯留を促進し、化学農薬・肥料の使用量の削減に取り組む産地に対し、その経費の一部を助成します。

[実施主体] 緑肥を新規又は拡大導入する野菜産地の生産組織

バイオ炭を新規又は拡大導入で1ha以上施用するみどり法の認定生産者【新規】

[補助要件] 県が定める化学農薬・肥料の使用量の2分の1以下で栽培していること

[補助率] 緑肥種子：2,000円/10a（定額）

バイオ炭：3,000円/10a（定額） 等

○野生鳥獣総合対策事業〔再掲〕（自然保護課） 715,506千円（R5 692,761千円）

野生鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲事業への助成を行うとともに、イノシシ及びニホンジカについては生息域拡大を防止・縮小させるため、県が捕獲事業を実施します。

また、捕獲の強化や担い手の確保・育成を図るため、令和5年度に引き続き、県内外の狩猟免許取得者等を対象に、千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業を実施します。

○イノシシ等有害獣被害防止対策事業〔再掲〕（農地・農村振興課）
369,635千円（R5 393,172千円）

イノシシなど有害獣による農作物被害を防止するため、市町村等で構成する「対策協議会」が実施する防護柵の設置や捕獲機材の購入などについて助成します。また、地域と協働して、農作物被害を低減させるための効果的な対策手法を検証するとともに、被害対策に取り組むための体制構築を支援します。

○外来種特別対策事業（自然保護課） 219,885千円（R5 157,755千円）

生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施します。令和6年度は、生息数の増加が続いているキョンの捕獲方法の開発・実証に引き続き取り組むほか、生息域が拡大しているナガエツルノゲイトウについて、県内全域の分布域を調査し、具体的な防除対策の検討を行います。

〔主な事業〕

- ・キョン（捕獲・調査） 38,858千円
- ・アカゲザル（捕獲・調査） 58,761千円
- ・カミツキガメ（捕獲） 44,882千円
- ・アライグマ（調査・わな貸出等） 17,639千円
- ・ナガエツルノゲイトウ（分布域調査） 54,685千円

○農業水路における外来水生植物特別対策事業【一部新規】〔再掲〕

(耕地課、農地・農村振興課)

60,000千円 (R5 20,000千円)

ナガエツルノゲイトウなどの外来水生植物が県内の農業水路等において生息域を拡大しており、農業への影響が懸念されることから、防除対策に取り組む市町村等に対し引き続き支援を行います。また、令和6年度は、地域で保全管理している農業水路等において農業者等で構成される組織が行う防除活動についても新たに支援します。

[主な事業]

- ・農業水路等における外来水生植物の防除に対する支援 58,000千円

[実施主体] ①市町村及び土地改良区

②地域の農業者等で構成される組織【新規】

[補助対象] 実施主体が保全管理する農業水路等における外来水生植物の防除に要する経費

[補助率] ①1/2以内

②2/3以内

○県管理河川における外来水生植物特別対策事業 (河川環境課)

273,500千円 (R5 25,000千円)

県管理河川のうち、ナガエツルノゲイトウなどの外来水生植物の繁殖が確認されている箇所等について、繁茂拡大防止のため、引き続き駆除を実施します。

○湖沼における外来水生植物対策事業 (水質保全課)

354,428千円 (R5 329,316千円)

印旛沼及び手賀沼において計画的・集中的に実施している外来水生植物の駆除について、継続的なモニタリング体制への移行に向けて、残る箇所の駆除を進めます。

また、地域住民の協力を得て、水辺環境を持続的に維持していくため、独自に駆除に取り組む市民団体に対し活動に要する経費を助成します。

[事業内容]

- ・手賀沼及び流域河川における計画的駆除 269,199千円
- ・印旛沼及び流域河川における計画的駆除 70,190千円
- ・市民団体における外来水生植物防除事業補助 15,039千円

○生活排水対策浄化槽推進事業（水質保全課） 230,000千円（R5 230,000千円）

市町村が実施する、単独処理浄化槽・くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進する事業に対し助成します。

[補助先] 市町村

[補助率]

- ・個人設置型 1/3
- ・市町村設置型 4/30
- ・高度促進補助 1/2
- ・転換に係る撤去・配管費用 1/2

○産業廃棄物等不法投棄監視等事業【一部新規】（廃棄物指導課、ヤード・残土対策課） 97,000千円（R5 87,000千円）

産業廃棄物不法投棄の早期発見・未然防止のため、県内全域を対象とした24時間365日対応の監視パトロール及び不法投棄等が行われている可能性が高い箇所への集中監視業務を実施します。令和6年度は、大雨等による災害発生の予兆を早期に把握するためのパトロールを新たに実施します。

[事業内容]

- ・不法投棄等の不適正処理等に係る監視パトロール 82,423千円
- ・産廃・残土110番に係る対応業務 1,552千円
- ・不法投棄等が行われるおそれの高い箇所におけるスポット監視業務 11,294千円
- ・災害警戒のためのスポットパトロール業務【新規】 1,731千円

○衛星画像を活用した不適正埋立て監視事業【新規】（ヤード・残土対策課） 30,000千円

残土等の不適正な埋立てによる崩落事故を防止するため、衛星画像を活用して盛土等で地形の改変の疑いのある箇所を抽出し、速やかな是正措置につなげます。

[事業内容]

- ・衛星画像を分析して人工的な埋立て等の可能性がある箇所を抽出
- ・一部地域で試行し、全県への展開を検討

○金属スクラップヤード等対策事業（ヤード・残土対策課） 14,000千円

金属スクラップヤード等規制条例の施行を受け、令和6年度から、事業場の施設や金属スクラップ等の保管方法等について、条例に定める基準への適合状況の検査等を実施します。

[事業内容]

- ・事業場から排出される汚水の水質検査 6,920千円
- ・現場立入の際の通訳 7,080千円

○環境研究センター建替事業【新規】（環境政策課）

17,000千円

地球温暖化や有害物質による汚染など、複雑化・多様化する環境問題に対応するための調査・研究を行う環境研究センターについて、建物や設備の老朽化が進んでいることから、建替えに向けた基本計画を策定します。

[スケジュール（予定）]

令和6年度～令和7年度：基本計画、令和8年度：基本設計、令和9年度：実施設計、令和10年度：着工

(3) 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

<千葉県誕生 150 周年記念事業>

○千葉県誕生 150 周年記念事業の開催（市町村への補助金）（文化振興課）

173,800 千円 (R5 467,000 千円)

本県ならではの文化資源や魅力の発信を通じて、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付します。

[補助割合] 補助対象経費の1/2以内

[補助上限] 人口 5 万人以上の市 10,000 千円

人口 5 万人未満の市町村 5,000 千円

※千葉の自然環境や「ちば文化資産」を活用する取組、複数団体による広域的な取組には加算を行います。

○「県民の日」事業〔一部再掲〕（文化振興課）

81,000 千円 (R5 75,000 千円)

(債務負担行為 49,000 千円)

幅広い世代の県民が、「県民の日」を通してふるさと千葉の魅力を再発見できるよう毎年開催している記念行事について、令和 6 年度は、千葉県誕生150周年記念事業のフィナーレイベントとして、海に囲まれた千葉の魅力をアピールするため、九十九里浜と勝浦市で 2 日間にわたって実施します。

[事業内容]

- ・千葉県誕生 150 周年記念事業のフィナーレイベントの開催 60,000 千円
- ・地域行事の開催 18,000 千円
- ・「県民の日」の広報 3,000 千円
- ・令和 7 年度事業の準備（中央行事等） (債務負担行為 49,000 千円)

＜文化芸術の振興＞

○「ちば文化」創造・継承事業【新規】（文化振興課） 20,000 千円

本県ならではの多様で豊かな自然環境や都市機能を取り入れた「ちば文化」を活用した事業の開催にかかる経費の一部について助成し、本県の文化の向上と地域の魅力発信、地域活性化を図ります。

[補助対象] 市町村・民間事業者

[補助率等] 事業費の2分の1（上限100万円）

[補助要件]

- ・千葉ならではの豊かな自然環境や都市機能を取り入れた文化活動（市町村事業）
- ・ちば文化資産を活用したお祭りや伝統芸能（民間事業）
- ・SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの

○「ちば」の文化芸術発信事業（文化振興課） 20,000 千円（R5 20,000 千円）

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、将来の文化芸術の担い手を育成し、優れた文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を県民が参加できる形で行います。

[事業内容]

・日本の伝統芸能 5,000千円

青葉の森公園芸術文化ホールの能舞台において、邦楽演奏家による公演や、他ジャンルとのコラボレーションを行うなど、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に伝統芸能に触れることができる機会を提供します。

・「ちば」の伝統文化 5,000千円

県内の郷土芸能団体等による実演を行うとともに、和楽器演奏体験等を実施し、本県の郷土芸能の魅力を発信します。

・千葉・県民音楽祭 10,000千円

障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術活動に参加・鑑賞できる機会を創出するため、本県のプロオーケストラである千葉交響楽団と楽器演奏者・障害者団体・合唱団体・ダンス団体等によるコラボレーションコンサートを実施します。

○千葉交響楽団関連事業（文化振興課）

91,515千円（R5 81,747千円）

千葉交響楽団の運営に対し助成するとともに、児童・生徒や県民を対象にした公演等を支援します。

県内唯一のプロオーケストラとして、県民から広く認知・支持されることで経営基盤を確立し、演奏活動等を通じて本県文化の発展に貢献できるよう、積極的に公演回数を増やしていきます。

[事業内容]

1 運営費補助	27,962千円
2 自主演奏会支援補助	15,000千円
3 学校における芸術鑑賞事業	27,329千円
4 県民芸術劇場公演事業	20,148千円
5 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業	1,076千円

○千葉県少年少女オーケストラ育成事業（文化振興課） 40,934千円（R5 40,934千円）

千葉県少年少女オーケストラの育成のための経費を助成します。

[事業内容]

- ・少年少女オーケストラ助成事業 13,200千円
- ・運営費補助 27,734千円

○障害者芸術文化活動支援事業（文化振興課） 9,000千円（R5 7,500千円）

障害者芸術文化活動支援センターにおいて、相談支援、人材育成、ネットワークづくり等を行い、障害のある方の芸術文化活動を支援します。

[事業内容]

- ・事業所等からの相談支援 1,850千円
- ・人材育成、情報収集・発信 3,550千円
- ・発表の機会の創出 3,600千円

○軽音ちば事業【一部新規】（文化振興課）

5,415千円（R5 3,950千円）

若者を中心に人気のある軽音楽について、近年、様々な音楽イベントが県内で開催されるようになり、県民が親しむ機会が身近になってきたことを踏まえ、こうした機会を活用し、本県の文化の1つとして振興を図ります。

[事業内容]

- ・「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業 4,415千円
- ・高等学校軽音楽コンテスト【新規】 1,000千円

○アーティスト・フォローアップモデル事業（文化振興課）

28,000千円（R5 12,000千円）

（債務負担行為 16,000千円）

新たな分野で本県の将来の芸術文化の担い手を育成するため、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストのキャリア形成を支援します。

[支援対象]・県内に在住、在学又は千葉県を活動拠点とする者
・39歳以下の者

[対象分野] 美術、デザイン、音楽、ダンス

[事業内容]

1 アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援（伴走型）

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援に加えて人的支援（専門家によるサポート等）を実施

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）
- ・活動場所、機材や作品の保管場所等の紹介
- ・作品制作及びキャリア形成に関する助言

2 新たな創造に繋がる芸術活動の支援（テーマ設定型）

[テーマ] 東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境（海、里山、川、水辺）を活かす芸術創造活動

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援のみ

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）

○千葉県文化会館大規模改修事業（文化振興課） 6,440,187千円（R5 802,072千円）
（債務負担行為 100,000千円）

建築後50年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、大規模改修工事を実施します。

[事業内容]

・大規模改修工事	6,185,900千円
・大規模改修工事監理業務等委託	43,893千円
・聖賢堂解体工事	114,700千円
・備品一時保管業務委託	24,694千円
・電気設備工事等	11,000千円
・擁壁改修工事	60,000千円

○千葉県文化会館リニューアルオープン事業【新規】（文化振興課） 2,012千円
（債務負担行為 20,000千円）

本県の文化芸術振興の拠点施設である千葉県文化会館のリニューアルオープンを機に、文化芸術振興への機運を盛り上げるため、千葉交響楽団による県民参加型のコンサートを令和7年度に実施します。

○千葉県立美術館開館50周年記念事業（文化振興課） 85,000千円

県立美術館が開館50周年を迎えることを記念し、所有しているコレクションの魅力を発信するとともに、新しいアートとの出会いの場を提供する特別展等を実施します。

[事業内容]

①記念事業の開催

・記念式典の開催	3,250千円
・記念誌の作成	6,720千円
・美術館の魅力発信	7,675千円

②特別展

- | | |
|---------------|---------|
| ・井田幸昌 作品展（仮称） | 4,355千円 |
|---------------|---------|
- 地域で活動する企業と連携した、若手アーティストの活動を紹介する展覧会。
- | | |
|----------------------------|----------|
| ・五十嵐靖晃 PROJECT UMINOUE（仮称） | 38,000千円 |
|----------------------------|----------|
- 千葉みなとエリアを舞台に地域と協働したプロジェクト等を展開し、海をテーマとした空間芸術などによる回遊型の展覧会。
- | | |
|------------|----------|
| ・浅井忠 展（仮称） | 25,000千円 |
|------------|----------|
- 開館以来、最も重要な作家として作品収集等に努めてきた、近代洋画の先駆者の展覧会。

○中央博物館リニューアル事業（文化振興課） 44,000千円（R5 35,000千円）

中央博物館について、県内博物館の活動拠点としての役割を強化するため、常設展示の見直しや博物館資料を収蔵するスペースの確保に必要な施設の整備等を行います。令和6年度は、整備予定地付近の埋蔵文化財等について事前調査を行います。

[主な事業]

- ・樹木調査、伐採等 33,662千円
- ・埋蔵文化財確認調査 5,450千円
- ・土壌汚染調査 4,100千円

○中央博物館特別展の開催（文化振興課） 21,920千円（R5 34,600千円）
（債務負担行為 20,000千円）

本県ならではの海の魅力に親しむことができる特別展を開催します。

[事業内容]

- ・令和6年度特別展「万^{まいわい}祝博覧会—海をまとう—（仮称）」の開催 20,000千円
[開催時期] 令和6年7月下旬～令和6年9月中旬の59日間（予定）
[展示構成] 県内外機関が所蔵する万祝類似資料、万祝見本帳、万祝製作関連資料、万祝式大漁旗、浮世絵、古写真、古文書等
- ・令和7年度特別展「海の幸～千葉の豊かな海と食文化～（仮称）」の開催準備 1,920千円
[開催時期] 令和7年7月中旬～令和7年9月中旬の57日間（予定）
[展示構成] 標本、漁撈資料、貝塚、古文書 等

○文化財保存整備助成事業（文化財課） 55,000千円（R5 55,000千円）

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成します。

[補助対象] 国指定文化財16件、県指定文化財10件 計26件

[補助率] 国指定文化財 国庫補助額を控除した額の1/2以内
県指定文化財 1/2以内

○国際境界模式地（GSSP）関係遺産保存活用等支援事業（文化財課）

19,000千円（R5 30,000千円）

市原市に所在する国指定天然記念物「養老川流域田淵の地磁気逆転地層（チバニアン）」は、国際的な科学機関により承認を受けた世界水準の価値を有する貴重な文化財であるとともに、校外学習等での活用を通じて子供たちへの教育効果が期待できることから、露頭見学施設等の整備に対して助成します。

〔事業主体〕 市原市

〔補助対象〕 子供たちへの教育効果が特に期待できる露頭見学施設や園路等の整備

〔補助率〕 国庫補助額を控除した額の1/2以内

○文化財収蔵庫整備事業【新規】（文化財課）

46,700千円

本県の埋蔵文化財を収蔵している旧県立高校の老朽化が進むとともに、成田空港の機能強化に伴う開発等により収容能力の不足が見込まれることから、埋蔵文化財の適切な保管・管理を行うことができる収蔵庫にするための整備を行います。

〔事業内容〕

- ・収蔵庫新設に係る実施設計、地質調査 27,990千円
- ・既存施設の基礎調査 15,840千円
- ・敷地内法面に係る調査等 2,870千円

＜スポーツの振興＞

○ちばアクアラインマラソン開催事業（生涯スポーツ振興課）

142,900千円（R5 49,000千円）

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、6回目の大会となる「ちばアクアラインマラソン 2024」を開催します。

[開催日程] 令和6年11月10日（日）

[種目等] フルマラソン 12,000人（参加料 16,500円）

ハーフマラソン・車いすハーフマラソン 5,000人（参加料 13,500円）

○外房サーフィン振興事業（生涯スポーツ振興課）

10,000千円（R5 10,000千円）

東京2020大会のレガシーとして、本県でサーフィンを楽しむ人を増やすとともに、参加者と地域の交流やスポーツを核とした地域の活性化を促進するため、関係団体等と連携して、サーフィン体験会やサーフ文化の発信イベントを開催します。

[主な事業] ・サーフィン体験会 1,936千円

・体験会に併せたサーフ文化発信イベント 7,478千円

○千葉県競技力向上推進本部事業（競技スポーツ振興課）

212,000千円（R5 212,000千円）

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

[主な事業]

・国スポ選手強化・サポート事業

・オリンピックアスリート強化支援事業

・ちばジュニア強化事業

○パラアスリート強化・支援事業〔再掲〕（競技スポーツ振興課）

38,000千円（R5 38,000千円）

本県にゆかりのあるパラアスリートが競技力向上に励めるよう、世界選手権等に出場が期待される選手や、全国大会等で実績のあるパラスポーツチーム等に対し支援します。

- （1）アスリート強化支援 36,900千円（R5 36,900千円）
- （2）パラスポーツチーム支援 1,100千円（R5 1,100千円）

○パラスポーツ振興事業【一部新規】〔再掲〕（生涯スポーツ振興課）

57,700千円（R5 52,600千円）

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーとして、パラスポーツの普及を図るとともに、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。令和6年度は、新たに特別支援学校を活用したパラスポーツ教室を開催します。

[主な事業]

- 1 パラスポーツフェスタ開催事業 6,814千円
- 2 パラスポーツコーディネーター派遣事業 12,200千円
- 3 パラスポーツ競技団体支援事業 5,200千円
- 4 パラアスリート等学校訪問事業 12,076千円
- 5 特別支援学校を活用したパラスポーツ普及促進事業 2,500千円【新規】

障害のある方が身近な地域でパラスポーツを体験できる機会を提供するため、県立特別支援学校を活用し、パラスポーツ教室を開催します。

○総合スポーツセンター体育館整備事業（競技スポーツ振興課）

247,737千円（R5 158,678千円）

（債務負担行為 740,000千円）

総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地での建替えに向けた設計を行います。

[事業内容] 実施設計 247,737千円

[供用開始] 令和10年度中（予定）

○総合スポーツセンター陸上競技場大型映像装置設置事業（競技スポーツ振興課）

14,500 千円（R5 7,367 千円）

総合スポーツセンター陸上競技場について、施設機能の充実を図るため、大型映像装置の設置に向けた実施設計等を行います。

[事業内容] 実施設計 12,500 千円

資材価格調査 2,000 千円

[供用開始] 令和9年度（予定）

○障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業（生涯スポーツ振興課）

（債務負担行為 247,000 千円）

障害者スポーツ・レクリエーションセンターの体育室において、利用環境の改善を図るため、空調設備を整備します。

[事業内容] 空調整備工事（債務負担行為 247,000 千円）

[完成予定] 令和7年度